

郷土の恵みの森づくり ～整備した昔道を歩き、深沢から養沢へ～



地域との協働の森づくりが進められて2年近く経ちます。この間、11の自治会や町内会で13の昔道の整備を行ってきました。

これまでの整備で、養沢の横根道と深沢の大樫から金比羅尾根までの道の整備がほぼ完了し、金比羅尾根を経由する昔道がつながりました。また、落合自治会が横根道につながる尾根道を整備したことで、養沢・深沢・落合を結ぶ昔道の散策路網が完成となりました。

山間地域の自治会の方々は、私たちレンジャーやサポートレンジャーよりも高齢の方が多くいますが、皆さん元気に道具を担ぎ、すたすと山道を登っていきます。斜めの道を削って水平にしたり、急な斜面には階段を作ったり、シグザグに道を通したりと、山で暮らしてきた知恵と技術を駆使した作業がとても勉強になります。

是非、みなさん、整備した昔道を散策してみてください。（整備した昔道の地図を裏面に掲載しています。）



1月22日の コレンジャーの活動



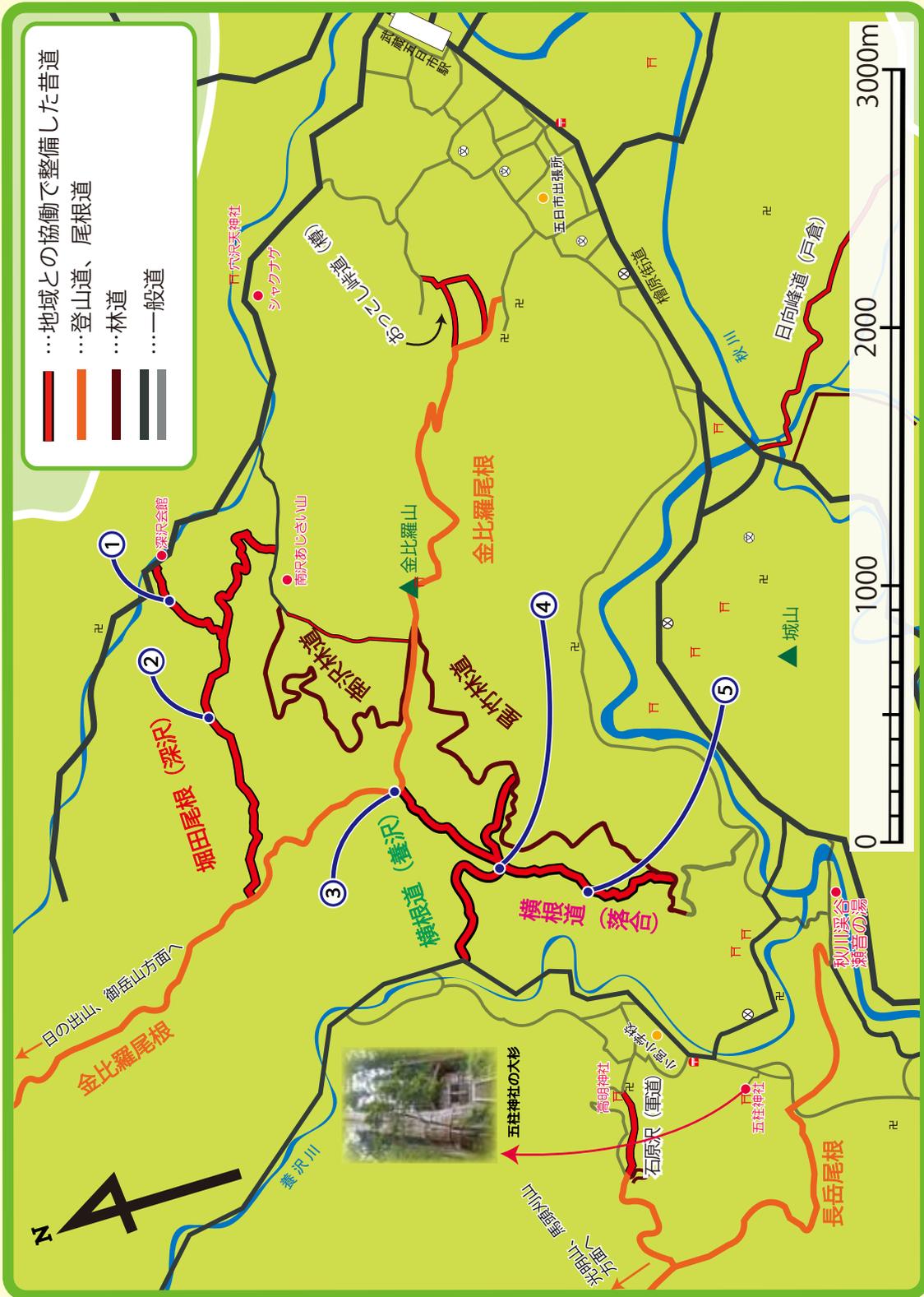
今回のコレンジャーの活動は、整備した横根道を歩き、山で巨木に出会いました。雪の上には動物の足跡やフンが残っており、コレンジャーは足跡を調べながら「タヌキ？テン？イノシシ？リスだったらいいな！」などと雪の上を通った動物を推理していました。その他に、昔道沿いにあるスギやモミの胸高幹周を測り、あきる野市には、大きな木が多いことを学びました。最後に見た五柱神社の大杉は本当に大きくコレンジャー 11人が手をつないで一回りの幹の太さでした。

横根道には馬頭観音や山の神様の祠など歴史を感じられるスポットが多くあります。そのような歴史スポットのいわれをコレンジャーに知ってもらいたく、地域の歴史に詳しい養沢地区在住の鈴木さんに同行していただき、解説していただきました。

協働でつながる昔道

武蔵五日市駅から3.5km程歩いて、深沢会館先の道標から山に入りましょう。5分ほど山道を登ると「山抱きの大榎」①が頭上に覆いかぶさってきます。周りをロープで囲われて、根や根株が保護されています。その後少し急になりますが一汗かいて堀田尾根にでます。堀田尾根を金比羅方面に向かうと、少し岩が出てるところに出ます。このあたりで朽ちた灯籠②に出会います。この先には、アワシマ様という祠があります。かつて針供養が行われていたそうです。その後、尾根道を進むと、すぐに金比羅尾根に出ます。

金比羅尾根を下ると横根道につながる枝道③があります。入口が広く階段で下りるようになっていて、つい誘い込まれる入口です。この道を進み、階段を下ると横根峠に出ます。ここには馬頭観音④があります。金比羅尾根を背にして右に下ると養沢方面へ、左に進むと屋竹林道へ、まっすぐ進むと高圧線の鉄塔を超えて、山の神の祠の下を回り、養蚕の神コヒカゲ様⑤の前を通って、尾根を下り落合地区に出ます。ここからは、しばらく車道を歩くこととなりますが、五柱神社の大杉や瀬音の湯に立ち寄りてみてはいかがでしょうか。



①「山抱きの大榎」



②アワシマ様の灯籠



③金比羅尾根から横根道への分岐

④横根峠の馬頭観音



⑤コヒカゲ様の祠

